

※黒字 定型事項 消さないで下さい。

以下、本文

門脈圧亢進症に対する侵襲的治療における偶発症に関する多施設調査

1. 研究の対象

2015年1月1日～ 2017年12月31日に門脈圧亢進症に対し手術を受けられた方

2016年1月1日～ 2017年12月31日に門脈圧亢進症に対し内視鏡・IVR治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

当院では日本門脈圧亢進症学会医療安全委員会に協力し、門脈圧亢進症に対する侵襲的治療（内視鏡・IVR・手術）における偶発症に関する調査を行っております。

これらの治療における偶発症の頻度を把握することにより、今後より安全に治療を行っていくための指標となるものと考えております。

あなたが門脈圧亢進症に対する侵襲的治療（内視鏡・IVR・手術）を行った際の偶発症の有無をカルテに記載されている内容を見て調査させていただきます。

研究期間：倫理委員会承認日～2023. 3. 31

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

天理市立メディカルセンター センター長 松村 雅彦

九州大学大学院 先端医療医学 赤星 朋比古

日本医科大学武蔵小杉病院 消化器外科 部長 谷合 信彦

船橋市立医療センター 消化器内科 松谷 正一

高知大学医学部 放射線医学講座 教授 山上 卓士

大阪市立大学 放射線診断学・IVR 学 講師 山本 晃

日本門脈圧亢進症学会評議員所属施設

<http://www.jsph.gr.jp/councilor.html>

(

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知大学大学院医学系研究科放射線医学講座 山西伴明

088-880-2367

研究責任者：高知大学大学院医学系研究科放射線医学講座 山上卓士

研究代表者：天理市立メディカルセンターセンター長 松村 雅彦

-----以上